

素晴らしき恩寵…
Amazing grace…

2017年1月15日(日) 午後2-4時
「生きるを考える」の集い 第八回目

日曜日の午後、

「恩寵の何がそんなに素晴らしいのか?」、この素晴らしさを皆さまと分かち合いたい、情熱あふれるクリス・ドーン師のメッセージに耳を傾けたいと思います

第一部

語り手

クリス・ドーン師 (逐語通訳で聞いていただけます)
恩寵、—無条件の神の愛— と、ひとり一人が神に愛されていること

第二部

話し合い

ひとり一人が神の恵み、—恩寵—を知ることができるようにとの祈り

「生きるを考える」の集い・シリーズの ご案内

フルダミニストリーでは、2016年5月から2017年3月にかけて、
この世で与えられた生命^{いのち}、人生をいかに生きるかの貴重なお話を、各専門域の第一線で活躍しておられる英国人講師二人から伺う「生きるを考える」の集いを企画しました。

日本の大学、研究機関に客員教授として招聘されている講師ですので、海外出張も多く、全員の常時出席はかないませんが、日本滞在中、できるだけ多くの時間を、皆さまとのお交わりに費やしたいとのことですので、月一回、日曜日の午後2-4時、この集いを計画しております。

お友だちをお誘いの上、万障繰り合わせてお出かけください。

講師プロフィール

クリス・ドーン 英国ダラム大学宇宙物理学教授、ブラックホール研究者
ジョン・パーカー 英国ダラム大学数学教授

場所：町田市民フォーラム 4階、第一会議室 A

(東京都町田市原町田 4丁目 9-8 33 サウスフロントタワー町田内)

次回の予定 (最新情報はサイトでご確認ください)

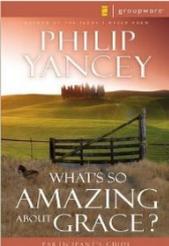
日時：2017年2月19日(日) 午後2-4時

場所：町田市民文学館ことばらんど

(東京都町田市原町田 4丁目 16-17) 第一、二会議室

講師：ジョン・パーカー師

フルダミニストリー <http://huldahministry.blogspot.jp/>
ヨシエルの会 <http://yosheru.blogspot.jp/>

1	素晴らしき恩寵
2	<p>アメイジング・グレイス なんと美しい響きであろうか 私のような者までも救ってくださる 道を踏み外しさまよっていた私を 神は救い上げてくださり 今まで見えなかった神の恵みを 今は見出すことができる</p> <p>ジョン・ニュートン、十八世紀の奴隷商人、キリスト者になった</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ● グーグルブック（英語）無料閲覧可 フィリップ・ヤンシー著 『恩寵の何がそんなに素晴らしいのか?』 ● この本は大きな影響を私たちの母教会（英国）に与えた 
4	<p>恩寵とは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 定義は難しい！ 無条件の愛 ● 神にこれ以上愛してもらうために私たちが神にできることは何もない 自制も、靈的訓練も… ● 神にもっと愛さないようにしてもらうために私たちが神にできることは何もない 私たちが犯しうるどんな罪も神の私たちに対する愛を変えない ● 私たちは実際にはこのことを信じていない
5	<p>人生が何を成し遂げるかではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「神の愛が全くただで私たちに注がれるという考えは、人間性のあらゆる本能に反する 仏教徒の修行の八つの段階、ヒンドゥー教のカルマ（業）の教理、ユダヤ人の契約、イスラム法の規則、これら各々は、承認を得る（あるいは、得ない！）道を提供する キリスト教だけは大胆にも、神の愛が無条件であると言い切る」
6	<p>恩寵とは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私たちは、異なった現世、帳簿をつける世を、生きている 人は払ったものを手に入れ、所有するもののために働く ● 私たちはこれを、神との関係に持ち込む ● 私たちは恩寵によって救われたことを認めるが、 いったん救われると、私たちは業によって、また、 規則を守ることによって生きようとする 内心では私たちは、もっと祈り、聖書を読むなら、神はもっと私を愛し、 もし明らかな罪を犯すなら、神は私を少ししか愛さないと思っている
7	<p>恩寵とは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私たちは、神は赦してくださるが、^{ざんげしや}懺悔者に赦しのための容赦を請わせた後、 不承不承、そうしてくださると思っている 愛より、恐れと尊敬を好む、遠くの雷のような姿 ● イエスは、神がどのように感じておられるかを話すのに 多くの時間を費やされた
8	<p>失われた硬貨、失われた羊、失われた息子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 女の人が高価な硬貨を失った それを見つけるため、家じゅうを掃除した ついにそれを見つけ、そのことを祝うために、近所中の人々を招いた…

	<ul style="list-style-type: none"> ● 主婦が跳びあがって喜ぶさまは、私が普通、神を描くの用に用いる方法ではないが、イエスはここで、その光景を用いておられる
9	<p>失われた硬貨、失われた羊、失われた息子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 失われた羊 羊飼いは、99匹の羊を山腹に残した (もしそれらが迷い込んだら?? 神はそのことは考慮されなかったのだろうか???) ● 神が喜ばれたのは、この世のすべての問題が解決されたからでも、何千もの人々が回心したからでもなく、 ご自分の子らのうちの失われた一人が見つかったからである
10	<p>失われた硬貨、失われた羊、失われた息子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 弟は、遺産を要求し、すべてのお金を奔放に使い、何もかも失った… ● ついにひもじくなったとき、家に帰る決心をした ● 父(神)は、息子に走り寄り、不面目を意に介せず公然と、両手を彼に差し伸べ、祝宴を催した… ● 厳粛な訓戒など何もない 「おまえが教訓を学んだなら、おまえには、残りの人生の毎日を罪悔い改めて歩んでもらいたい」
11	<p>失われた硬貨、失われた羊、失われた息子</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 兄はねたましく思った ● 兄は、(私たちもそうだが) 思った、 自分こそ祝宴、最上の衣、指輪にふさわしいと…
12	<p>ぶどう園の働き人たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人々は雇われ、早朝から炎天下を一日中働いた ● その日の仕事の一時間前にある者が雇われ、 後ではほかの者たちと同じ額の賃金を受け取った!! ● 一日中働いた者たちは、憤った 「私たちにはもっと支払われるべきだ」と ● ぶどう園の所有者(神)は言った 「私たちは最初に、支払われるべき賃金に同意した あなたがたは、私が気前がいいので、ねたましく思うのか」と ● 「そうです！」
13	<p>私たちにふさわしいのは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多くのキリスト者は、自分が、最後に雇われた者や、怠惰な弟ではなく、朝雇われた働き人たち、あるいは、兄であるとみなす ● 神は、賃金ではなく、贈り物を分配してくださる 私たちのうち一人として、功績、功勞による賃金を受ける者はいない それは、神が要求される完璧な人生を満足させるような生き方に近づることができる者はいないからである もし、公平を基盤に支払われるなら、 私たちすべては地獄で終わることになる
14	<p>私たちにふさわしいのは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 恩寵は、日当のように計算されることはできない ● 恩寵は、最後に終わるか、最初に終わるかということではなく、それは数えないこと、数えることではない ● 私たちは、恩寵を、得るために私たちが労苦したからというのではなく、神からの贈り物としていただく ● もしこの世が、私たちの悪行に比べて私たちの善行が勝っているがゆえに救われることができるとしたら、この世は、イエスによってではなくモーセによって救われたであろう

15	<p>この恩寵をほかの人たちに伝えるには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ほとんどの人たちは、キリスト教を規則、道徳、裁きに関連づけている ● イエスは、道徳についてあまり語られなかった イエスは、神がどのような方か、神が、ふさわしくない者をいかに無条件の愛で愛しておられるかを語られたが、これが恩寵である
16	<p>この恩寵をほかの人たちに伝えるには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イエスは、一般の人々、群衆（悪態をつき、飲酒にふけり、喫煙する者たち）を引き寄せられた 同時に、彼らが見下げるような人々、遊女、ハンセン病患者、取税人も ● 聖書から、イエスにある神は、明らかにこのような類の集団を好まれる… ● 神は、ご自身が愛される子どもたちを、表面下でご覧になる 私たちも同じようにするために、神の助けが必要である！
17	<p>話し合いのための質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 私たちの日常生活で、私たちはどのように恩寵の力を理解しているだろうか それがあるか、あるいは、ないかで ● 神の愛が無条件であるとは、どのようなことか？ ● 掟を守ることのほうがやさしいだろうか？ ● 私たちは恩寵をどのようにしてほかの人たちに伝えるのか？
18	<p>話し合いの後で</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 繰り返しの失敗に打ちひしがれ、希望を失い、不徳の思いで、私たちは自分自身の回りに殻を築き、そのため恩寵をほとんど感じなくなってしまう ● 時々、ほんとうに時たまであるが、私はたとえを学び、それらのたとえが私についてであると思う 私は、羊飼いが群れをあとに残して、探している羊である 私は、父が地平線を見つめ、現れるのを待っている放蕩息子である 私は、神に愛されている者である
19	<p>私は神に愛されている者</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アイデンティティー [自分自身の拠りどころ] 私はクリス、私は神に愛されている ● ほかにも重要なことがある 私は宇宙物理学者、ジョンの妻… しかし、これらのことは、どのように私自身を定義するかのリストでは、下位に来る事からである ● これらほかのことはどれも、取り去られ得るもの ある日、私は退職し、ある日、夫ジョンは死ぬだろう しかし、私は、まだクリスであり、まだ、神に愛されているだろう どんな罪を私が犯そうと
20	<p>私は神に愛されている者</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あなたはどうですか？ 神が私たちひとり一人をどのように見てくださっているか、また、私たちの真<small>まこと</small>のアイデンティティーは何かを一目見させてくださった今、皆で祈りたいと思う ● 私は、羊飼いが群れをあとに残して、探している羊である 私は、父が地平線を見つめて、現れるのを待っている放蕩息子である 私は、神に愛されている者である